



1999—2000年 春のライラ報告

RI第2660地区青少年活動委員長

有賀 一夫 (大阪咲洲RC)

春のライラ実行委員長

奥 公男 (大阪イブニングRC)

2000年5月3日～5日の3日間、大阪府立青少年海洋センター（淡輪）におきまして春のライラが開催されました。

今回のテーマは、「宇宙船地球号を担うリーダーとして」ということで、青少年79名が参加いたしました。また、チームライラ（上級ライラ修了生）も15名がスタッフとして参加していただきました。

開講式には、ガバナー始め地区役員の方々に多数ご参加いただきました。その後の記念講演では、海洋冒険家のヨットマン堀江謙一氏の、世界を巡るまさに宇宙船地球号にふさわしいお話を聞かせていただき、大いに夢を広げることができました。

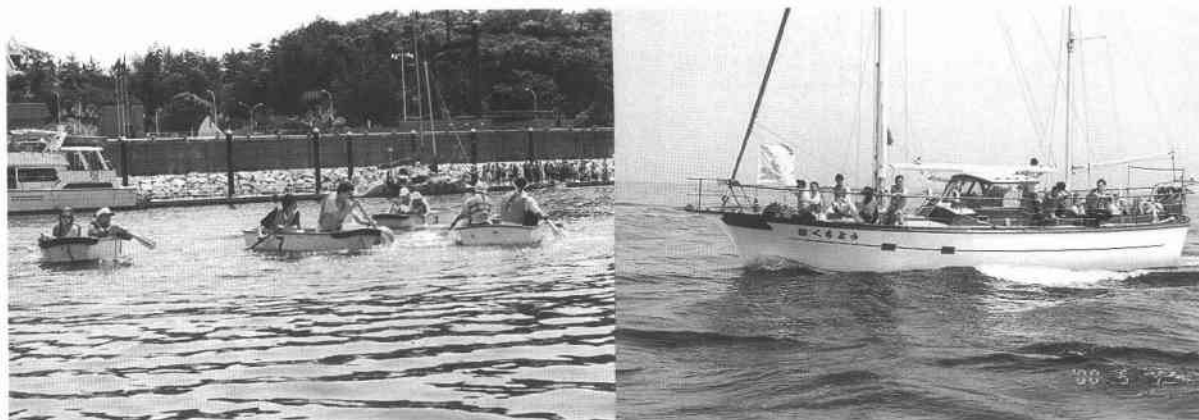
幸いにも全日程が快晴に恵まれ、野外活動は大変盛り上がりました。カッターレースでは、青少年に負けるものかとロータリアン号も出廷しがんばりました。また、体験クルージングでは、ヨットやクルーザーに全員が乗りセーリングやクルージングを楽しみながら海の様子を学びました。青少年とロータリアンの意義深いふれあいの時を持てた事は、今回のライラの特徴だと思います。

海洋トライアスロンというプログラムがありましたが、これは海や海の周りで各種の競争やゲームをするというものです。かなりハードなものになりましたので、青少年もバテました。ロータリアンはもちろん、見学するだけであります。

テーマ討論会では、地球の環境保全や資源の有効活用の大切さを話し合い、宇宙船地球号にとって「燃費がいいのはきれいな水」というサブテーマも発表されました。

いよいよフィナーレの閉講式。いつもの「手に手つないで」は感激いたしました。特に青少年たちが次回のライラも楽しみにしていますとの言葉に、本当にやってよかったなあと感じました。

最後になりましたが、こうして春のライラを無事終了することができましたのも、ご登録いただきました2660地区全クラブのご理解とご協力のおかげでございます。ありがとうございました。





国際ロータリー第2660地区広報・雑誌委員会主催

第 3 回 特 別 講 演 会

平成12年4月25日、大阪国際会議場12階特別会議場において、中井委員の司会進行により、第3回特別講演会を開催いたしました。

特別講演会の演者には、アメリカン・ファミリー生命保険会社 法律顧問 チャールズ・レイク氏を招き、「訴訟社会米国と日本」の現状と21世紀の企業防衛の為の指針と対策」をテーマに2時間におよぶ講演がおこなわれ、約200名のロータリー・クラブの皆様と、70名の一般の皆様が出席されました。

講演内容は、「日米の訴訟社会の実態とは」、「コンプライアンス重視の背景」、「大競争時代に対応した法令遵守・コンプライアンスの実現にむけて」などで、セクシャル・ハラスメント、独占禁止法、病院による法令違反などの事例や、経済構造問題、経団連の行動憲章、経営トップの意識改革など大変中身の濃い講演会となりました。

最後に菅生浩三パストガバナーの挨拶で第3回特別講演会を閉会しました。

